

令和7年 秋号

# もみじ便り

社会福祉法人 札幌シニア福祉機構  
特別養護老人ホーム「サポータィ・もみじ台」  
札幌市厚別区もみじ台北6丁目2-5-2  
電話:011-897-8000  
発行者:施設長 泉水 康之  
発行日:令和7年10月17日  
ホームページアドレス:<http://www.s-senior.or.jp/>

秋涼の候、みなさまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。今回は夏祭りや9月11日に行われた「敬老会」の様や施設での取り組みについてご紹介させていただきます。

## 【夏祭り】



## 【敬老会】



## 【10月の行事予定】

6日(月) 2階往診      20日(月) 4階往診      27日(月) 3・5階往診  
28日(火) みんなで歌おう会(2階)

## 【歯科の定期健診について】

「勤医協もみじ台歯科」さんの定期健診を行って貰っていますが、どのような経過で始まったの？どのような内容なの？と、質問も聞かれておりますので、改めてお伝えさせていただきます。

令和6年4月の介護保険制度改正で「口腔衛生管理の強化」を目的に、介護職員が歯科医師や衛生士の技術的助言や指導を受け、専門的に口腔状態の確認や清掃を行うことが義務付けられました。

当初は介護職員が入居様様の口腔状態を確認させていただいておりましたが、「歯肉の腫れ、噛み合わせ、義歯が合っているか」など専門的な観察が必要な方が多いことから、歯科往診で診ていただくことが適切ではないかと考え、令和6年の家族説明会や新入居時に同意をいただき現在に至ります。

現在、フロアごとに歯の健診を行なっていますが、必要に応じて個別に診ていただくこともあります。口の中の観察はもちろん、口腔ケアが不十分な所が無いかも確認し、職員へ伝達してくれています。治療が必要となりましたら、別途医療保険にて治療をお願いしています。

皆さんのお口の健康を守るために、各職種が協力しておりますので、ご家族様にもご理解とご協力をいただくと幸いです。



## 【ACP(アドバンス・ケア・プランニング)=人生会議について】

当施設では、入居様様が自分らしく生活をして頂くことを目指し『ACP』という取り組みを行っています。ACPとは、超高齢社会の現在、人生の最終段階に於いて自分の望む医療や介護について前もって考えておき、それらをご家族・施設職員と共有する取り組みのことです。

内容は「自分が大切にしたいこと」「自分の終末期医療に対する希望」の2つに分かれています。

新入居後、約1ヶ月後に入居様様とご家族から伺い、担当者会議で共有させて頂いております。

ACPの取り組みにより、入居様様がどのように生きてこられたか、どんなことが好きで何を大切にされているかなど、ご本人の価値観を知ることができ、望む生活を支援する手がかりになっています。

また、終末期医療に対する希望についても、前もって確認することで、最終段階に望む医療について考える機会になっていると感じております。個人情報保護には十分配慮して行っています。

## 【ボランティアさんのご紹介（第1弾）】



岡崎さん

(車いす清掃、施設周りの環境整備)



久米谷(くめたに)さん

(つくろいもの)



遠藤さん

(つくろいもの)

車いす清掃、施設周辺の環境整備(草取りなど)をしていただいている岡崎さん。「気持ちよくお客様がサポーターもみじ台に来館してほしいから」と、真夏の暑い日も欠かさず毎週活動していただいています。久米谷さん、遠藤さんは入居様様の衣類の綻びやほつれの修繕、ズボンのゴムの入れ替やボタン付け、医療用具を入れる袋を製作していただき、長年当施設で活動してくださっています。

地域の方やご家族様で、ボランティアに関心のある方がおられましたら、その方に合わせた活動内容や時間を一緒に考えますので、気軽に生活相談員までお声をかけてください！